

平川市スポーツ推進計画

【案】

スポーツで元気なまちを目指す



【令和3年 トップアスリートによるサッカー教室】

令和4年3月

平川市教育委員会

目 次

第1章 計画策定にあたって

1 計画策定の趣旨	1
2 計画期間	2
3 計画の位置付け	2

第2章 本市における運動・スポーツの現状と課題

1 現 状	3
（1）本市の運動スポーツを取り巻く環境について	3
（2）成人のスポーツ実施率について	3
（3）児童生徒の体力・運動能力について	5
2 課 題	7

第3章 計画の基本的な目標と方針

1 基本目標	8
2 基本方針	8
3 主要施策	9
運動施設の環境整備と利活用	10
スポーツ・レクリエーション活動の充実	10
夢に向かう競技スポーツの推進	11

第4章 具体的な取り組み内容

第5章 市内運動施設概要

【資料】

平川市スポーツ推進審議会委員名簿	22
平川市スポーツ推進委員名簿	23
スポーツ少年団、クラブ等一覧	24
NPO法人平川市スポーツ協会加盟団体一覧	25
ひらかわスポーツクラブ教室一覧	26
運動施設利用実績	27

第1章 計画策定にあたって

1. 計画策定の趣旨

国が定める「スポーツ基本法^{※1}」において、スポーツは、世界共通の人類の文化であり、スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは、全ての人々の権利であるとされています。

また、スポーツが、青少年の健全育成や地域の活力醸成、心身の健康保持や増進、我が国の国際的地位向上といった多面的な役割を担うことも明示されています。

国では、スポーツに関する施策の総合的かつ計画的な推進を図ることを目的に策定した「第2期スポーツ基本計画^{※2}」の次期計画となる「第3期スポーツ基本計画」を、青森県においては「青森県スポーツ推進計画」の次期計画である「第2次青森県スポーツ推進計画」の策定を進めております。

本市では、平成28年に「平川市スポーツ推進計画」を策定し、市民の健康保持や増進、体力の維持や向上を図り、スポーツを気軽に楽しむことができる環境を整備し、市民一人ひとりが生涯にわたってスポーツに親しむことができるよう、また、スポーツイベントの開催等によるスポーツツーリズム^{※3}の推進や、競技力向上に向けた支援等、さまざまな施策に取り組んできました。

現行の「平川市スポーツ推進計画」が、計画期間（平成29年度～令和3年度）を終了することから、国や県の計画を参酌しながら、本市の現状と課題を踏まえ、市民の誰もが生涯にわたって心身ともに健康で豊かな生活を実現していくために、今後取り組むべきスポーツ施策を示した2期目の「平川市スポーツ推進計画」を策定しました。

※1 スポーツ基本法

昭和36年6月に制定、同年9月に公布、及び施行されたスポーツ振興法（昭和36年法律第141号）を50年ぶりに改正し、スポーツに関して、基本理念を定め、並びに国及び地方公共団体の責務並びにスポーツ団体の努力等を明らかにするとともに、スポーツに関する施策の基本となる事項を定めるもの。

※2 スポーツ基本計画

スポーツ基本法の理念を具体化し、今後の我が国のスポーツ施策の具体的な方向性を示すものとして、国、地方公共団体及びスポーツ団体等の関係者が一体となって施策を推進していくための重要な指針として位置づけられるもの。

※3 スポーツツーリズム

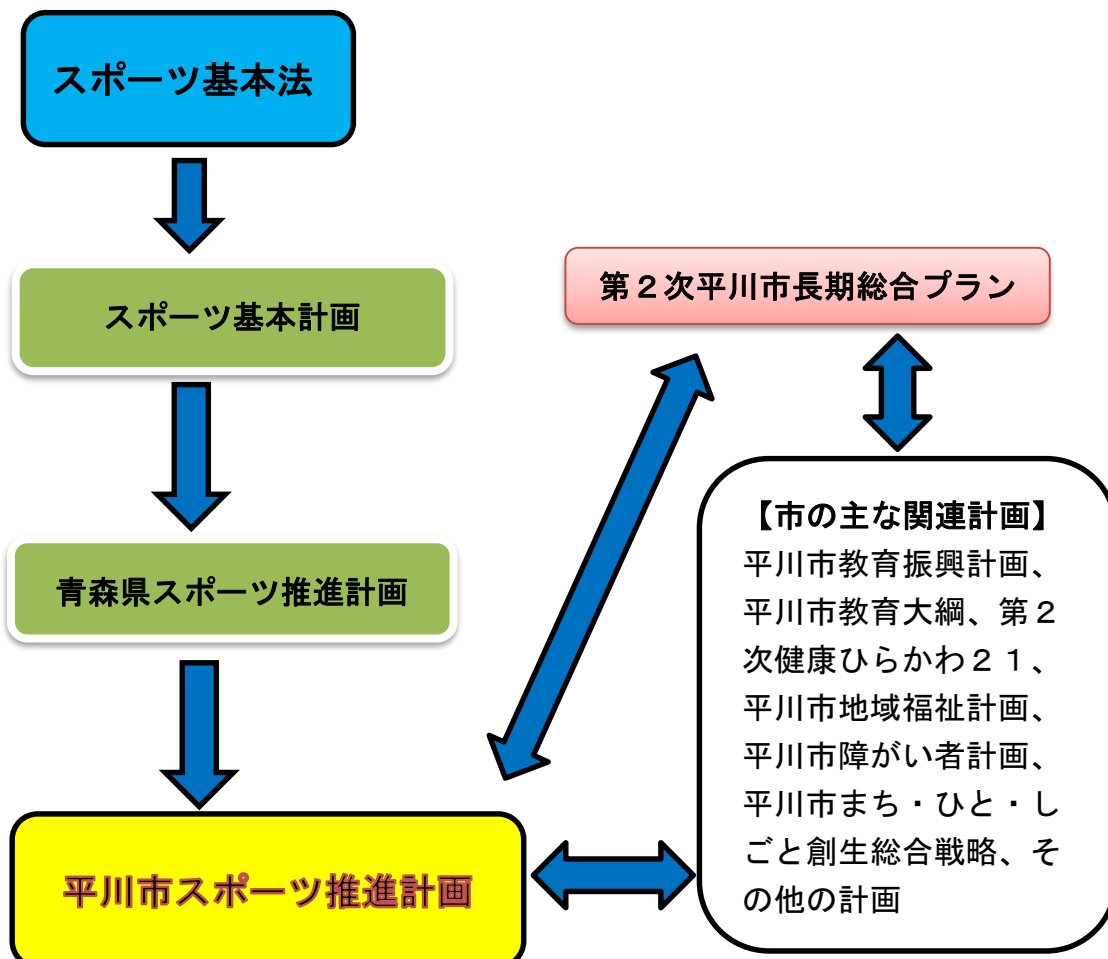
スポーツを見に行くための旅行や、それに伴って周辺の観光やスポーツを支える人達との交流など、スポーツに関わるさまざまな旅行のこと。

2. 計画期間

本計画は「第2次平川市長期総合プラン」後期基本計画の計画期間に合わせ、令和4年度から令和8年度までの5年間とします。ただし、社会状況の変化や国のスポーツ基本計画の改定等を踏まえ、必要に応じて見直しを行います。

3. 計画の位置づけ

本計画は、「スポーツ基本法」第10条に基づき、地方の実情に即した「地域スポーツ推進計画」として平川市教育委員会が策定するものであり、国の「スポーツ基本計画」及び「青森県スポーツ推進計画」を参酌して平川市が目指す理想のまちである将来像や、まちづくりの方向性を示す「第2次平川市長期総合プラン」における目指す平川らしさの中の「スポーツで元気なまち」を推進するための計画として位置づけています。



第2章 本市における運動・スポーツの現状と課題

1. 現 状

(1) 本市の運動・スポーツを取り巻く環境について

本市では、令和2年に「ひらかわドリームアリーナ」をオープンし、陸上競技場や屋内運動場（ひらかドーム）などの既存施設と一体的な運動施設として、市民の誰もが、気軽にスポーツに取り組める環境づくりを進めています。

さらには、幼児から高齢者までを対象とした「平川市スポーツデー」や、トップアスリートによる各種教室の開催、NPO 法人平川市スポーツ協会（以下「スポーツ協会」という。）が主体となつての「水泳教室」、「ソフトボール教室」、「野球教室」、スポーツ協会の加盟団体が主体となつての「ダンス教室」、「ソフトテニス教室」、「グラウンド・ゴルフ大会」、「スポーツ少年団^{※4}交流大会」などさまざまなスポーツイベントを開催しています。

一方で、現在市が所管する施設は経年による老朽化が進んでいる施設も多いことから、市民が気軽に親しみ、障がいの有無に関わらず利用できるよう、利用者の利便性や地域の実情に応じた設備の充実を図るとともに、適切な管理運営と計画的な整備を進めていくことが求められています。

(2) 成人のスポーツ実施率について

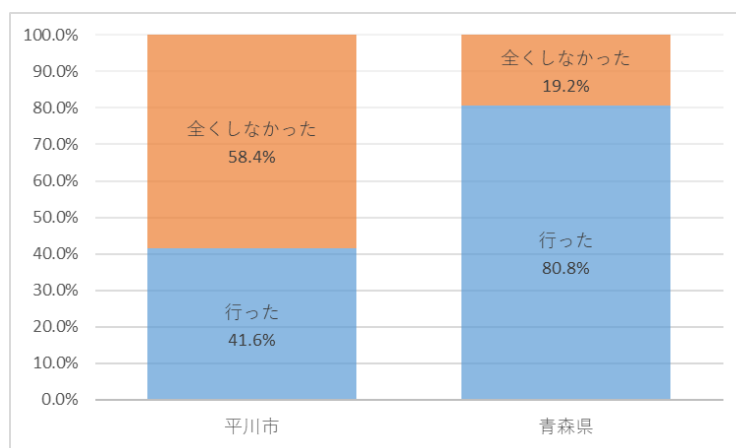
今年度、本市では、「第2次平川市長期総合プラン」後期基本計画の策定のための基礎資料とすることを目的として、「令和3年度市民意識調査」（以下「市民意識調査」という。）ならびに市民の運動・スポーツに関する実施状況などを把握するため、「運動・スポーツ実施状況等に関するアンケート調査」を実施しました。本計画においては、「市民意識調査」の調査結果をもとに策定し、「運動・スポーツ実施状況等に関するアンケート調査」については、本計画の付属資料として、今後のスポーツ施策の参考とします。

「市民意識調査」では、本市の成人のうち、過去1年間に運動やスポーツを行った割合は41.6%で、「県民の健康・スポーツに関する意識調査報告書」（令和3年1月公表）の県の数値80.8%を大きく下回る結果となりました。（図1）

※4 スポーツ少年団

スポーツを通じた青少年の健全育成を目的とする日本最大の青少年スポーツ団体。単位スポーツ少年団、市区町村少年団、都道府県スポーツ少年団、日本スポーツ少年団の4つの段階で構成及び運営されている。

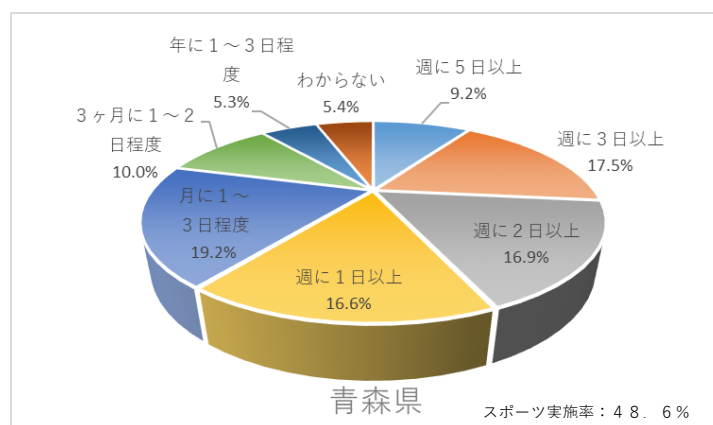
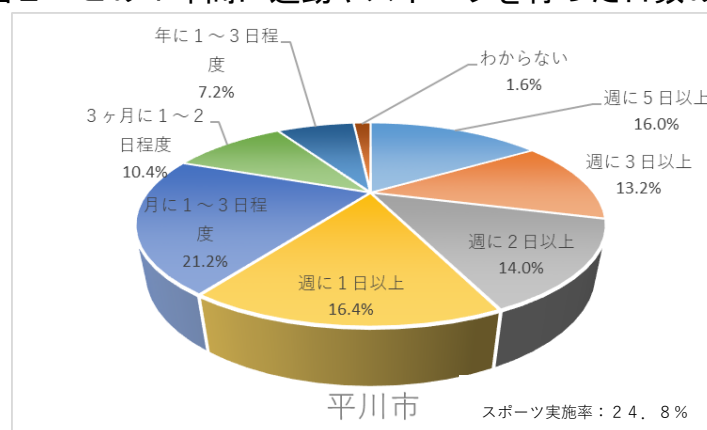
図1 運動やスポーツの1年間の実施状況



(「令和3年度市民意識調査」結果、及び令和3年1月「県民の健康・スポーツに関する意識調査報告書」による)

さらには、週に1回以上スポーツを実施する人の割合(スポーツ実施率※)についても、24.8%で、県の48.6%を下回りました。(図2)

図2 この1年間に運動やスポーツを行った日数の割合

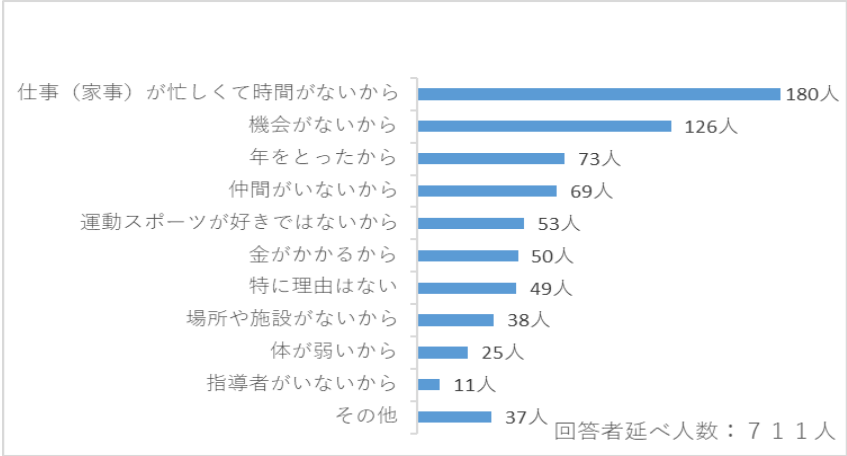


※スポーツ実施率の算出方法

(1年間のスポーツ実施割合) × (週に5日以上の割合 + 週に3日以上の割合 + 週に2日以上の割合 + 週に1日以上の割合) × 1 / 100

また、過去１年間にまったく運動やスポーツをしなかった理由として、回答者延べ７７１人のうち「仕事（家事・育児）が忙しくて時間がないから」と答えた人が１８０人と最も多く、以下、「機会がないから」（１２６人）、「年をとったから」（７３人）、「仲間がいないから」（６９人）などの順となりました。（図３）

図３ 過去１年間に運動やスポーツを行わなかった理由



（３）児童生徒の体力・運動能力について

文部科学省が示す「新体力テスト実施要領」に基づき、県が小学校５年生、中学校２年生を対象に実施している新体力テスト調査の令和元年度結果では、本市の児童生徒の体力は、小学校５年生男女、中学校２年生男女ともに、多くの測定項目で県平均を上回り、特に小学校５年生女子、中学校２年生女子については、ほとんどの測定項目で全国平均を上回りました。（表１）

また、平成２７年度に実施した調査（表２）と比較すると、小学校５年生女子、中学校２年生男女において、合計点を上回る結果となりました。

表１ 令和元年度における性別、年齢別新体力テストの調査の全国・青森県・平川市平均値

性別	校種	学年	区分	握力 (Kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横とび (回)	持久走 (秒)	20mシャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ハンドボール投げ (m)	合計点 (点)
								(男子1500m) (女子1000m)				(小学生はソフトボール投げ)	
男子	小学校	5年	全国	16.60	20.61	33.78	44.1		56.90	9.17	155.10	23.72	56.64
			県	16.65	19.97	31.81	43.27		53.64	9.56	149.82	22.05	53.68
			市	18.29	20.53	31.04	44.65		55.56	9.49	154.35	25.32	55.69
	中学校	2年	全国	30.39	28.26	45.31	54.19	379.45	90.40	7.77	203.56	21.40	45.46
			県	29.76	26.77	44.12	52.03	413.77	83.18	7.93	199.13	20.19	42.93
			市	29.41	27.04	42.62	52.61	399.07	81.93	7.75	204.41	21.50	53.19
女子	小学校	5年	全国	16.36	19.39	37.95	42.00		45.58	9.50	148.01	14.74	57.83
			県	16.65	19.26	36.21	42.13		46.44	9.69	144.59	14.02	56.48
			市	19.65	22.44	36.26	48.98		58.30	10.41	167.98	24.02	59.94
	中学校	2年	全国	24.32	24.43	47.39	48.71	276.97	64.45	8.59	176.45	13.92	53.90
			県	23.84	23.16	46.29	47.28	299.87	57.15	8.83	168.98	12.66	50.05
			市	27.52	27.14	46.28	51.76	322.42	51.13	8.41	192.38	18.03	61.18

（青森県教育庁スポーツ健康課「令和元年度 児童生徒の健康・体力」による）
※市の平均値については、令和元年度の新体力テスト調査の報告値に基づき、平川市教育委員会スポーツ課において算出

表2 平成27年度における性別、年齢別新体力テストの調査の
全国・青森県・平川市平均値

性別	校種	学年	区分	握力 (Kg)	上体 起こし (回)	長座 体前屈 (cm)	反復 横とび (回)	持久走 (秒)	20m シャトル ラン (回)	50m走 (秒)	立ち 幅とび (cm)	ハンド ボール 投げ (m)	合計点 (点)
男子	小学校	5年	全国	16.45	19.58	33.05	41.60		51.64	9.38	151.24	22.52	53.80
			県	16.74	19.94	31.42	42.20		53.60	9.57	149.74	23.17	53.55
			市	18.99	22.17	33.02	44.82		55.84	9.37	153.35	25.69	57.15
	中学校	2年	全国	28.93	27.43	43.08	51.62	392.63	85.56	8.01	194.05	20.65	41.89
			県	30.18	27.15	43.74	51.58	405.44	84.67	8.02	194.79	20.33	42.16
			市	29.17	28.25	45.97	53.88	373.41	77.41	8.02	199.78	22.05	43.77
女子	小学校	5年	全国	16.05	18.42	37.44	39.55		40.69	9.62	144.77	13.77	55.18
			県	16.61	18.95	35.92	40.90		44.86	9.70	143.74	14.31	55.87
			市	18.74	20.51	36.69	43.24		50.80	9.60	145.02	16.94	58.60
	中学校	2年	全国	23.68	23.26	45.53	46.09	290.03	58.06	8.84	167.28	12.83	49.08
			県	23.96	22.78	45.76	45.95	300.00	56.88	8.89	164.96	12.46	48.37
			市	24.19	23.53	50.17	49.51	276.40	54.87	8.89	168.66	13.79	51.77

(「平川市スポーツ推進計画 平成29年3月」による)

【体力テスト種目の説明について】

体力テスト種目	単位	体力要素	測定
①握力	Kg	筋力	左右握力平均値
②上体起こし	回	筋パワー・筋持久力	30秒間に上体を起こした回数
③長座体前屈	cm	柔軟性	長座位で前屈したときの両手の前方への移動距離
④反復横とび	回	敏捷性	20秒間に両脚で左右測方に反復跳躍した回数
⑤持久走	秒	全身持久力	男子1500m、女子1000mの走破時間 (12歳以上⑤・⑥から選択)
⑥20m シャトルラン	回	全身持久力	20m走行の折り返し回数 (11歳以下必実施、12歳以上⑤・⑥から選択)
⑦50m 走	秒	疾走能力	50mの疾走時間
⑧立ち幅とび	cm	筋パワー・跳躍能力	両脚で前方へ跳躍した直線距離
⑨ソフトボール投げ	m	巧緻性・投球能力	ソフトボールを遠投した距離
体力合計点	点	8種目の体力テスト成績を1点から10点に得点化して総和した体力テスト合計得点	



2. 課 題

本市の運動・スポーツを取り巻く環境においては、より多くの市民が、各種大会やスポーツイベント等へ参加できる仕組みづくりのため、各団体と横断的な日程調整を行うとともに、これまでの情報発信方法に加え、時代に合わせた効率的な方法を検討し、市民ニーズやライフステージ^{※5}に応じたスポーツ情報の提供が求められています。

さらには、全国大会レベルの大会の誘致や支援、スポーツ合宿などスポーツを通じた交流人口の拡大は、観光振興はもちろん、地域活性化等の面でも大きな効果が期待できることから、市内運動施設を有効活用し、積極的に各種大会の開催誘致に取り組む必要があります。

また、「市民意識調査」の結果から、成人のスポーツ実施率における過去1年間に運動やスポーツを行わなかった理由として、「仕事（家事・育児）が忙しくて時間がない」、「機会がない」、「年をとったから」、「仲間がいない」などが主なものでした。このことから、働く世代や子育て世代、さらには高齢者が身近で運動・スポーツができる仕組みづくりや、親子や家族で参加できる運動・スポーツの機会の拡充などにより、運動習慣を身につける意識づくりを推進していく必要があります。

県が令和元年度に実施した調査では、本市の児童生徒の体力は、全体的に全国及び県平均を上回る結果となりました。しかしながら、「運動・スポーツ実施状況等に関するアンケート調査」の結果などから、子どもを取り巻く環境の変化により、日常生活の中において体を動かす機会が減少している傾向にあることから、積極的にスポーツをする子どもと、そうでない子どもとの二極化が見られる傾向となっています。

このことから「目指す平川らしさ」として、「スポーツで元気なまち」を実現するためには、スポーツ協会や、スポーツ少年団、各種競技団体、レクリエーション団体などと連携し、市民が日常的に運動やスポーツに親しむことができるような取り組みを行っていくことが求められています。

さらには、市民のライフステージに応じたスポーツ活動を推進するため、市民の一人ひとりが、それぞれの体力や、年齢、性別、志向、目的等に応じて、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる「生涯スポーツ^{※6}」社会の実現を目指します。加えて、生涯にわたるスポーツライフの推進のため、日常の生活の中にスポーツを位置づけ、健康・体力づくりなどをおして、生きがいや仲間を見つけ、地域の活性化に結びつくような環境づくりへの取り組みが今後の課題となっています。

※5 ライフステージ

人間の一生において節目となるできごと（出生、入学、卒業、就職、結婚、出産、子育て、退職等）によって区分される生活環境の段階のこと。

※6 生涯スポーツ

健康の維持・増進や、レクリエーション、コミュニケーション、競技力の向上など、その目的はさまざまであるが、生涯にわたってスポーツに親しみ、関わっていくこと、気軽に親しめるスポーツのこと。

第3章 計画の基本的な目標と方針

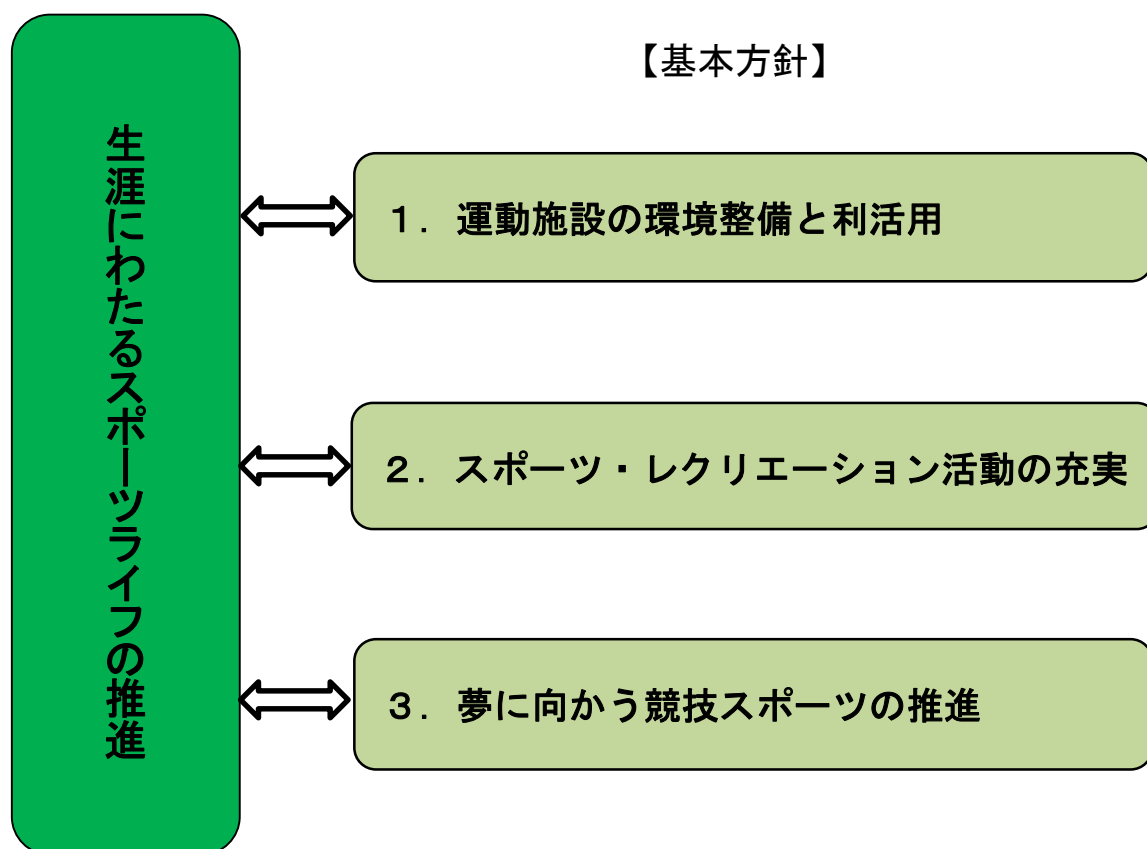
1. 基本目標

本計画では、課題となっている「生涯にわたるスポーツライフ」推進のため、市民の誰もがそれぞれの体力や年齢、目的や志向に合わせ、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツやレクリエーションに親しむことができるような環境づくりに努める必要があります。

また、市民の誰もがスポーツ活動に参加できる機会を提供するとともに、より多くの市民がスポーツを実際に「する」だけでなく、「みる」、そして指導者やスポーツボランティア※⁷といった「ささえる」にも着目しながら、「スポーツで元気なまち」を目指します。

2. 基本方針

前回の「平川市スポーツ推進計画」策定時に、5年間を見据えて掲げた3つの柱となる基本方針を本計画においても継続するとともに、主要施策については、現状にあった施策に取り組みます。



※7 スポーツボランティア

報酬を目的としないで、スポーツ団体などの運営や指導活動を支えたり、地域のスポーツ大会やスポーツイベント等に進んで協力したりして、スポーツ活動を支える人のこと。

3. 主要施策

それぞれの基本方針のもとで、主要施策として次の取組みを実施していきます。

基本方針 1 運動施設の環境整備と利活用

- (1) 運動施設の管理運営の充実及び利活用の促進

基本方針 2 スポーツ・レクリエーション活動の充実

- (1) ライフステージに応じたスポーツ活動の充実
- (2) 総合型地域スポーツクラブ※⁸の育成強化
- (3) 健康づくりのための運動推進

基本方針 3 夢に向かう競技スポーツの推進

- (1) 次世代を担うアスリートの発掘と育成
- (2) 競技力向上に向けた人材育成

※8 総合型地域スポーツクラブ

「多世代」「多種目」「多志向」を活動の基本とし、身近な地域でスポーツに親しむことができる、地域住民が自主的・主体的に運営する地域に根差したスポーツクラブ。

基本方針 1

運動施設の環境整備と利活用

(1) 運動施設の管理運営の充実及び利活用の促進

運動施設の環境が充実していることは、スポーツ振興はもちろん市民の健康づくりや地域の活性化にもつながることから、施設運営への要望等、市民のニーズや利用実態等を踏まえながら、障がい者や高齢者を含め市民の誰もが安全・安心に利用できる施設環境の整備に努めます。さらには、既存施設に加えて新たに整備した「ひらかわドリームアリーナ」を最大限有効活用し、市民が生涯にわたってスポーツに取り組める環境づくりを進めるとともに、施設の適正で効率的な管理運営を図り、利便性が高く充実したサービスを提供します。

また、市民が安全・安心に利用できるように各施設の総合的な整備および継続的な維持管理に努め、さらには、選手の練習環境の充実と各種競技の上位大会等の開催に向け、各競技団体等と連携して競技規則の改正等にも対応しながら、公認規則に合った施設としての機能の維持など各運動施設の充実を図るとともに、利用状況や、各種大会・イベント等について広く情報提供を行い、効率的な利活用を促進します。

基本方針 2

スポーツ・レクリエーション活動の充実

(1) ライフステージに応じたスポーツ活動の充実

ライフステージに応じた活動を推進するため、市民一人ひとりが、それぞれの体力や年齢、性別、志向、目的等に応じて、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツ・レクリエーションに親しむことができるよう、各種スポーツ大会や教室を開催するとともに、スポーツ協会、スポーツクラブ、平川市スポーツ推進委員（以下「スポーツ推進委員」※⁹という。）等と連携しながらスポーツに親しむことができる環境づくりを進めます。

※9 スポーツ推進委員

平成28年8月に施行されたスポーツ基本法によって、それまでの「体育指導委員」が「スポーツ推進委員」と改称された。スポーツ推進のための事業実施に係る連絡調整やスポーツの実技指導、その他スポーツに関する指導及び助言などを行う。同法第32条に基づき市町村教育委員会が委嘱する委員で任期2年の非常勤公務員。

(2) 総合型地域スポーツクラブの育成強化

市民が主体的に参画するスポーツ環境の整備の観点から、多種目・多世代・多志向といった多様性を持つ総合型地域スポーツクラブが安定的かつ継続的に運営できるよう、クラブの育成と強化に努めます。そのためには、総合型地域スポーツクラブの指導者の育成と、活動内容の周知についての充実を図り、各学校、スポーツ協会、スポーツ少年団等と連携して、市民の誰もが気軽に参加できるプログラムやイベントが実施できるよう支援を行います。

(3) 健康づくりのための運動推進

市民一人ひとりが生涯にわたり健康であるためには、食生活の改善や運動の習慣化等を図ることが重要であることから、平成27年度に制定した「平川市いきいき健康長寿のまちづくり条例」に基づいて生活習慣改善事業や、健康講座を実施するとともに、地域が行う自主的な健康づくりを支援することで、健康づくりのための運動を推進します。

また、健康づくりのための運動を推進するために、スポーツ協会と連携しながら運動施設を利用してさまざまな教室の実施を推進します。

基本方針3

夢に向かう競技スポーツの推進

(1) 次世代を担うアスリートの発掘と育成

市民に勇気や感動を与え、子どもたちのスポーツに対する興味や意欲を高めるとともに、大舞台で活躍できるスポーツ選手の育成に努めます。そのためには、幼少期からスポーツに触れ合う機会の提供や教育の取り組み、次世代のトップアスリート^{※10}の発掘が課題となっていることから、小中学校や、スポーツ少年団、競技団体等との情報共有を図り、人材の発掘や育成に努めます。

(2) 競技力向上に向けた人材育成

トップレベルの大会において、地元の選手が活躍することは、市民に喜びと感動を与えるとともに、地域の活性化にもつながることから、各競技団体をはじめとした関係団体と連携し競技力向上を図るため、積極的に各競技の指導者養成講座、研修会等の開催を推進します。

さらには、競技力向上を図るうえで、ジュニア期からの指導が重要なことから、ジュニア世代を指導できる人材を育成します。

※10 トップアスリート

アスリートの中でも、一流と認められている者。一般的には、オリンピック、世界選手権出場レベルの者や、各競技の世界ランキング上位者などをいう。

第4章 具体的な取り組み内容

【主要施策】運動施設の管理運営の充実及び利活用の促進

具体的取組み 1 運動施設管理と利活用の促進

各運動施設について、施設と設備の適正な管理を実施しながら、老朽化が進んでいる施設についてはこれまでと同様に、整備や改修を進めながら長寿命化^{※11}を図っていきます。また、各競技のルール変更へ対応するため、定期的に施設の更新を行います。加えて、運動に取り組む市民の意識高揚を図りながら各運動施設の利用者の増加につなげるため、各種スポーツイベントや、教室を開催します。

【主要施策】ライフステージに応じたスポーツ活動の充実

具体的取組み 2 多様なスポーツ活動の普及・促進

スポーツ協会やスポーツクラブ、スポーツ推進委員等と連携しながら生涯スポーツ振興の視点から世代を超えても気軽に親しむことができる各種ニュースポーツ^{※12}やスポーツ活動の普及を推進します。

さらには、広く市民に対して、広報やホームページ等を活用して情報提供を推進するとともに、市民のスポーツ・健康づくりに対する意識の高揚に努めます。

具体的取組み 3 スポーツ指導者の確保・育成

市民の多様なスポーツニーズに応じるため、スポーツ協会職員やスポーツ推進委員、スポーツクラブ会員等を対象とした指導者研修を推奨し、指導者をはじめ、各種大会や教室等を実施する場合のスタッフの確保と育成のため、協力体制づくりを構築します。

※11 長寿命化

老朽化した建物について、物理的な不具合を直し建物の耐久性を高めることに加え建物の機能や性能を求められる水準まで引き上げる改修を行うこと。

※12 ニュースポーツ

サッカーやバスケットボールのような、ある程度の練習を必要とし、競争原理が強くはたらく近代スポーツとは別に、誰でも気軽にすぐ楽しむことのできることを目的に新しく考案され、アレンジされたスポーツの総称。

具体的取組み 4 社会教育施設等の利活用

社会教育施設や文化施設を利用した軽スポーツイベントなどの開催を通じて市民にスポーツに触れ合う機会を提供するとともに、青少年の豊かな成長と心を育み、より良い社会環境づくりを実現するため、関係機関と連携しながら青少年の健全育成についても推進していきます。

【主要施策】総合型地域スポーツクラブの育成強化

具体的取組み 5 総合型地域スポーツクラブの育成

クラブ運営の核となる人材の確保や育成をはじめ、市民のニーズに合ったメニューの開発と提供、会員加入に向けた広報活動や活動場所の確保などの支援に努めます。

また、本市における総合型スポーツクラブは、「ひらかわスポーツクラブ教室」といった1団体多種目のスポーツクラブ教室の形態であることから、教室間の情報共有やネットワークの強化に取り組むとともに会員確保の支援に努めます。

【主要施策】健康づくりのための運動推進

具体的取組み 6 健康づくりのための運動の支援

厚生労働省によると、国内における死亡危険因子の上位に運動不足があり、生活習慣病^{※13}の増加が危惧されています。このことから、健康福祉部署と連携しながら、生活習慣病予防のため、競技性を有するスポーツだけではなく健康づくりのためのプログラムをスポーツ協会や、スポーツ推進委員と協働により実施し、栄養講座や、有酸素運動^{※14}、筋力トレーニング、ストレッチ運動の健康講座等を継続して開催します。

また、各町会や市内事業所が自主的に実施する健康づくり活動について支援するとともに、市内在宅介護支援センターに委託して、口腔の各機能の向上や栄養改善に加え、認知症予防や運動を取り入れたプログラムの実施について支援します。

※13 生活習慣病

食事・運動・飲酒・喫煙・睡眠などの「生活習慣」に関連して、発症、進展、増悪する疾患を総称して生活習慣病と呼んでいる。糖尿病・脂質異常症・高血圧症・脳梗塞・脳出血・心疾患などが含まれる。

※14 有酸素運動

ウォーキングや、エアロビクス、サイクリング、水泳など、長時間継続して行う運動を指します。これらの運動は、運動中に筋を収縮させるためのエネルギーを体内の糖や脂肪が酸素とともに作り出されることから、有酸素運動と呼ばれている。

【主要施策】次世代を担うアスリートの発掘と育成

具体的取組み 7 全国大会等で活躍できる選手の発掘と育成

全国大会等で活躍できる選手を育成するため、スポーツ協会、スポーツクラブ、スポーツ少年団、その他の団体が行う各種大会および強化事業を支援します。

さらには、市内の小中学校や、スポーツ少年団等と連携を図り、高い能力を秘めるジュニア選手の発掘と育成強化を推進します。

また、スポーツ協会においては、各種ジュニアスポーツ教室を開催していることから、続けて実施できる体制づくりについて支援します。

具体的取組み 8 トップアスリートによる指導・育成強化

トップレベルで戦えるアスリートの育成を図るためには、トップアスリートとしての実績を有する指導者の高度な技術や能力に接することが重要で、新たな次世代のアスリートの育成にもつながります。このことから、スポーツイベントの誘致を図るとともに、トップアスリートを招いてのスポーツ講習会等の開催を継続します。



【主要施策】競技力向上に向けた人材育成

具体的取組み 9 指導者体制の充実

競技力向上を目指すためには、指導者の育成強化が必要不可欠であることから、ジュニア期からトップレベルに至るまで、計画的な人材育成の体制整備を図ります。さらには、競技団体や関係機関等とさらなる連携を図りながら、アスリートの活動を支える環境づくりを推進します。

第5章 市内運動施設概要

【ひらかわドリームアリーナ】

多様な競技に利用できるようメインアリーナとサブアリーナを設置し、1,102席の観客席を有する施設として令和2年4月に供用を開始しました。

地域スポーツと健康を支える拠点施設として期待されるほか、大規模な災害が発生した場合には、緊急避難場所や、地域防災拠点としての機能も併せ持った施設となっています。

観客席には車いすスペースを設け、エレベーター、オストメイト対応トイレ完備などバリアフリーの施設となっているほか、子どもが遊べるキッズスペースも設けていることから、高齢者や障がい者をはじめ、子育て世代なども含めた多くの市民が快適に利用できる施設となっています。

競技面数：バスケットボール	3面（メイン2面、サブ1面）
バレーボール	3面（メイン2面、サブ1面）
ソフトテニス	2面（メイン2面）
バトミントン	11面（メイン8面、サブ3面）



(メインアリーナ)



(サブアリーナ)



(キッズスペース)

【平川市陸上競技場】

日本陸上競技連盟公認の第4種L（ライト）競技場として、8レーン全天候型の一周400mトラックとなっています。天然芝のフィールドはサッカーやグラウンド・ゴルフの練習、大会の会場としても広く利用されています。また、夜間照明設備も整備されていることから夜間の利用も可能です。



【平賀多目的広場】

陸上競技場に隣接しており、野球やソフトボールの練習や大会のほか、天然芝を活用してサッカーやグラウンド・ゴルフなどさまざまな競技や市内保育園の運動会等レクリエーションスポーツにも広く利用されています。



【平賀屋内運動場（ひらかドーム）】

屋内グラウンドは一年を通して野球、ソフトボール競技をはじめグラウンド・ゴルフやサッカーなどに利用されています。

また、外周は一周285mのランニングコースが整備され、自分のペースで周回することができることから、多くの方々に健康・体力づくりの場として利用されています。

トレーニングルームには、バーベルや各種トレーニングマシンが備え付けられていることから、有酸素運動、筋力トレーニング、体幹トレーニングなど幅広い運動が可能となっています。



(ひらかドーム全景)



(屋内グラウンド)



(ランニングコース)



(トレーニングルーム)

【平賀テニスコート】

夜間照明設備が整備され、人工芝コートを6面整備しています。市内のスポーツ少年団や、大学のサークル等の団体や、個人の方々に利用されています。



【平賀屋内温水プール】

屋内の温水プールで、25m7コースと幼児用プールが整備され、個人利用のほか、市内小学校の授業等をはじめ、幼児から高齢者までを対象とした水泳教室や、水中でのエクササイズ等さまざまな教室で利用されています。



(施設外観)



(施設内部)



【平賀体育館】

昭和52年の「あすなろ国体」開催時に、ウェイトリフティングの会場として利用された施設です。バスケットボールコート2面、バレーボールコート2面、テニスコート2面、バドミントンコート6面が配置できることから、スポーツ協会の加盟団体をはじめとする団体や個人の方々に利用されています。



(施設外観)



(施設内部)

【尾上野球場】

夜間照明設備と電光掲示板が整備されており、両翼92m、センター120mの球場で、バックスタンド、イス席、内外野芝生を合わせると4,000人が収容可能です。

㈱楽天野球団と球場命名契約を締結しており、「楽天イーグルス尾上スタジアム」の愛称で親しまれ、小学校から社会人の各種公式大会や練習で利用されています。



(施設外観)



(グラウンド)

【尾上多目的広場】

両翼が70mの多目的広場です。少年野球から還暦野球、ソフトボールなどの各種大会のほか、天然芝を活用して、サッカーなどさまざまな競技の練習で利用されています。



【尾上テニスコート】

全面ハードコートのテニスコートを5面整備しています。市内のスポーツ少年団、大学のサークル等の団体や、個人の方々に利用されています。



【B & G尾上体育館】

昭和57年3月に建設され、平成29年にB & G財団の助成により、施設全体を修繕しています。バスケットコート1面、バレーボールコート2面、バドミントンコート3面が配置できます。地元のバレーボールクラブや、小学生のバレーボールクラブの練習、スポーツ協会主催の体力づくり教室等や、個人の方々にも利用されています。

その他、面積が200㎡の武道館が併設されており、空手、剣道競技での利用が可能です。

また、尾上体育館があり、地元中学生のバレーボールの練習やサッカークラブの冬季間練習などにも利用されています。



(施設外観)



(施設内部)

【市内小・中学校体育館】

市内の小・中学校の体育館は、児童・生徒の教育活動の場として、スポーツ活動や、文化活動等が実施されるなど、重要な施設となっています。

さらには、「スポーツ基本法」により学校教育活動以外に各種競技団体などに体育館を開放しており、広く市民が利用できる施設として非常に重要な役割を担っています。

利用する各種競技団体などは、学校体育館の使用におけるマナーを守り、利用者が責任を負うことで学校との信頼関係を築きながら、継続して利用しています。



【資 料】

市スポーツ推進審議会委員名簿

任期：令和２年６月１日～令和４年５月３１日

NO.	氏 名	所属団体・役職	備 考
1	高 木 千代子	平川市スポーツ推進委員 委員	
2	松 本 毅	平川市校長会 (平賀東中学校長)	
3	奈 良 拓 昌	平川市連合 PTA (副会長 平賀東小学校 P T A 会長)	
4	加賀谷 由 紀	平川市子ども会育成協議会 副会長	
5	山 口 勇 一	平川市行政委員連絡協議会 委員	
6	船 水 徳 生	平川市社会福祉協議会 事務局長	副 会 長
7	樋 口 光 郎	NPO 法人平川市スポーツ協会 副会長	会 長
8	小田桐 真由美	NPO 法人平川市スポーツ協会 理事	
9	田 中 尚 子	平川市連合婦人会 会長	
1 0	佐 藤 磨衣子	平川市役所 子育て健康課 保健師	

平川市スポーツ推進委員名簿

任期：令和２年４月１日～令和４年３月３１日

NO.	氏 名	種目・特技	備 考
１	斉 藤 晃	ボウリング	
２	福 士 明 好	バレーボール	
３	岸 裕 之	バドミントン	委員長代理
４	佐々木 昌 子	テニス	
５	大 湯 博 美	エアロビック	
６	成 田 健	柔 道	
７	葛 西 智江子	水 泳	
８	齋 藤 誠	ソフトボール・インディアカ	
９	岩 渕 桂	ヨガ・フィットネス	
１０	山 田 恵 子	水泳	
１１	山 本 幸 子	ノルディックウォーキング	
１２	鳴 海 貴 嗣	野球・バドミントン・インディアカ	委 員 長
１３	高 木 千代子	ダンス・エアロビック	
１４	谷 川 富士子	アルペンスキー・バドミントン	
１５	木 村 千鶴子	ダンス	
１６	佐 藤 善 彦	ソフトテニス	
１７	木 村 圭 佑	バスケットボール・自転車	
１８	成 田 厚 子	陸上・ダンス	
１９	後 藤 悦 祐	野球	
２０	工 藤 雅 弘	卓球	
２１	下 山 美津子	ソフトボール・水 泳	
２２	清 藤 節 子	バレーボール	委員長代理
２３	小田切 仁 志	陸上	
２４	田 村 智 樹	相撲	
２５	小田桐 真由美	ソフトテニス	
２６	小田桐 亜 依	ソフトテニス	

○ スポーツ少年団、クラブ等一覧

(令和3年9月1日現在)

NO.	団名、クラブ名	競技種目														団員数①（人）	指導者数②（人）	①／②（％）
		軟式野球	ソフトボール	サッカー	ソフトテニス	バレーボール	バスケット	バドミントン	ノルディック	陸上	一輪車	水泳	柔道	空手	野外活動			
1	平川東 JBC スポーツ少年団	○														22	3	7.3
2	柏木スポーツ少年団	○														11	2	5.5
3	ひらかベースボール クラブスポーツ少年団	○														14	4	3.5
4	尾上サッカークラブ スポーツ少年団			○												84	7	12
5	尾上 BBC スポーツ 少年団	○														22	3	7.3
6	平賀フットボールクラブ スポーツ少年団			○												14	2	7.0
7	平川市ソフトテニス スポーツ少年団				○											28	3	9.3
8	ガンバソフトテニス スポーツ少年団				○											10	5	2.0
9	平川MBCスポーツ 少年団						○									29	2	14.5
10	ひらかわジュニアソフト ボールクラブ		○													23	7	3.3
11	平川jr.クラブスポーツ 少年団	○														10	3	3.3
12	B&G 尾上海洋クラブ					○							○	○		14	11	1.3
13	ひらかわスイミングクラブ											○				27	5	5.4
14	ゆうえい館スイミング スクール※1											○				12	2	6.0
15	平川ジュニアアスリート ※2									○						89	3	29.7
16	平賀東スポーツ少年団		○													11	5	2.2
17	平賀一輪車クラブ										○					8	1	8
	合 計	5	2	2	2	1	1	0	0	1	1	2	1	1		428	68	

※1 「ゆうえい館スイミングスクール」は令和3年9月30日をもって廃止

※2 「平川ジュニアアスリート」は「平川ジュニアアスリートサークル」から名称変更

○ NPO 法人平川市スポーツ協会加盟団体一覧

(令和3年9月1日現在)

NO.	団体名	会員数(人)		
		大 人	子 ども	計
1	平川市インディアカ協会	18		18
2	ウエイトリフティング協会	20		20
3	平川市グラウンド・ゴルフ協会	100		100
4	平川市ゲートボール協会	13		13
5	平川市ソフトテニス協会	27		27
6	平川市テニス協会	15		15
7	NPO 法人スポレクダンスクラブ平川	22	8	30
8	平川市バスケットボール協会	18		18
9	平川市ボウリング協会	16		16
10	(財)日本空手協会平賀支部	7	28	35
11	平川山岳会	20		20
12	平川水泳協会	23		23
13	平川市陸上競技協会	42		42
14	平川市卓球協会	20		20
15	平川市野球協会	190		190
16	平川市ソフトボール協会	40		40
17	平川市バレーボール協会	51		51
18	平川市バドミントン協会	23		23
19	平川スキークラブ	19		19
20	平川市柔道協会	15	3	18
21	平川市スポーツ少年団	167	161	328
22	平川市相撲協会	7		7
23	平川市サッカー協会	30	98	128
24	平賀歩行会	46		46
25	平川愛弓会	6		6
26	平川市ゴルフ協会	100		100
27	平川鉄人会	13		13
合 計		1,068	298	1,366

○ ひらかわスポーツクラブ教室一覧

(令和3年9月1日現在)

NO.	教室名	会員数(人)
1	女性のための健康エクササイズ教室	17
2	Muscle Academy(マッスル アカデミー)	12
3	硬式野球塾	30
4	ノルディックウォーキング教室	11
5	ジュニアバレーボール教室	12
6	こどもリズム体操教室	3
7	子供水泳教室	459
8	選手育成教室	39
9	成人水泳教室	52
10	アクアエクササイズ	19
11	健康塾	2
12	子供体操教室	63
13	ヨガ教室	15
14	バドミントン教室	30
15	バドミントン選手育成コース	10
16	スラックライン教室	7
17	ジュニア野球教室	16
18	ソフトテニス教室	10
19	シェイプアップ教室	6
20	カヌー・SUP 教室	10
合 計		823

○運動施設利用実績

区 分		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		利用者 (人)	利用料 (円)	利用者 (人)	利用料 (円)	利用者 (人)	利用料 (円)
平賀屋内運動場 (ひらかドーム)	屋内運動場	66,595	5,385,440	59,359	5,310,410	16,229	3,158,295
	会議室	13,715	415,060	13,270	439,363	1,025	88,310
	ランニングコース	9,812		9,116		4,465	
	トレーニングルーム	25,458	5,125,740	23,200	4,614,660	6,479	1,266,560
平川市陸上競技場		25,021	1,025,850	33,794	995,470	11,604	539,940
平賀多目的広場		10,602	663,950	17,059	801,210	7,264	467,140
平賀屋内温水プール		33,930	5, 330,130	28,548	4,497,020	25,894	4,147,830
平賀テニスコート		8,787	1,646,470	10,765	1,923,260	8,432	1,843,400
平賀体育館		29,352	2,869,050	26,824	2,635,275	16,462	1,347,165
平賀体育館会議室		2,157	191,830	2,244	180,350	1,294	87, 800
B&G 尾上体育館 (武道館、ミーティングルーム含む)		24,051	2,201,915	18,217	1,735,910	12,413	1,248,900
尾上野球場		8,590	1,048,600	9,723	1,289,065	6,487	1,368,500
尾上テニスコート		4,334	793,360	3,818	700,050	1,354	72,060
尾上多目的広場 (平成 27 年度完成)		3,580	125,220	3,959	198,930	4,877	160,320
尾上体育館		11,770	1, 280,100	8,993	931,045	9,658	647,730
ひらかわドリームアリーナ						24,061	3,294,550
アリーナ会議室等						1,212	228,800
合 計		277,754	28,102,715	268,889	26,252,018	159,210	19,967,300

※利用人数及び利用料には減免分も含む



【ひらかわドリームアリーナ全景】

平川市スポーツ推進計画

■発行年月 令和4年3月
■発行 平川市教育委員会
■編集 平川市教育委員会スポーツ課
(ひらかわドリームアリーナ内)
〒036-0114 青森県平川市町居南田249
TEL : 0172-26-6467
FAX : 0172-26-6468
E-mail : sports@city.hirakawa.lg.jp